

働くことができる生活保護受給者への就労支援(実績とH25の展開)



働くことができる若い生活保護受給者が増加

リーマンショック以降、働くことができる若い世代が大幅に増加
 ➡ 資格や経験がなく、就職が厳しい現状

民間企業などで豊富な経験を持つ支援員が、
 職業訓練の受講から再就職まで一貫して支援



職業訓練受講の様子

H24の実績

就職者 **701**人

※ 50歳未満の離職者2,800人が対象

H25の展開

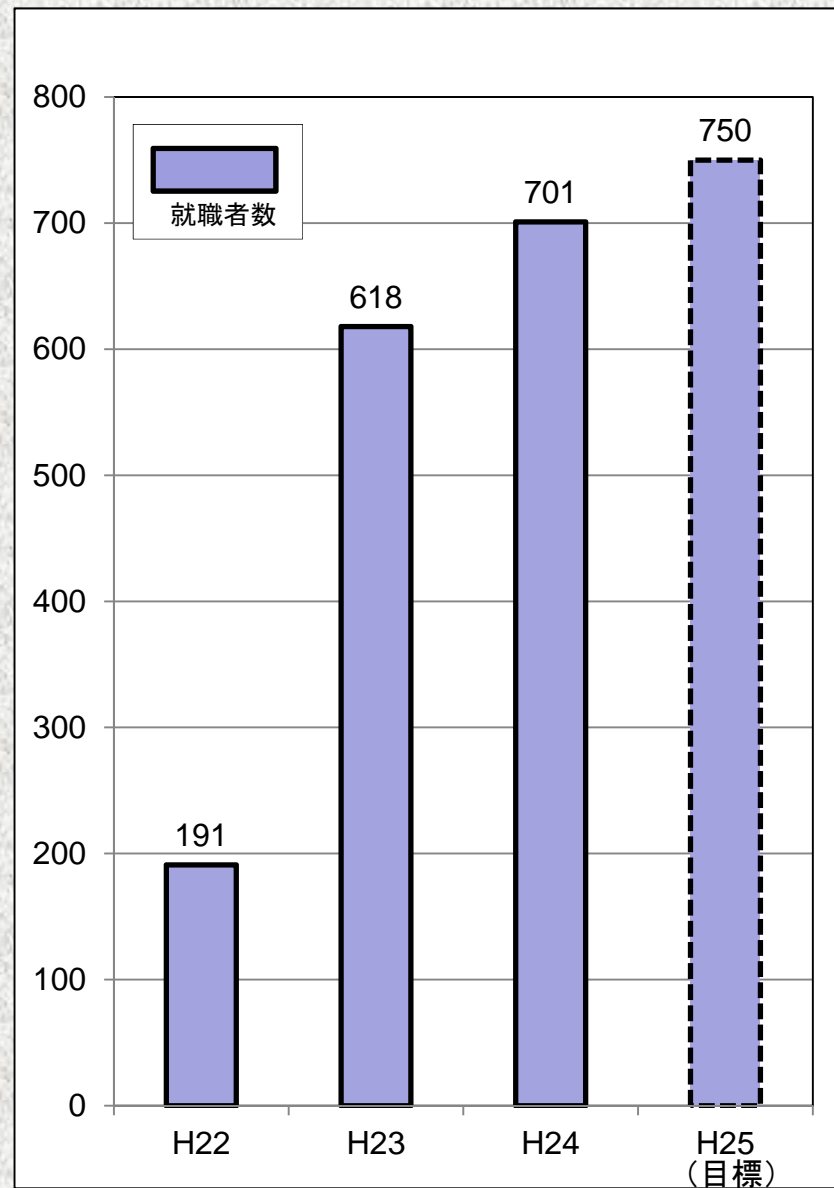
就労体験先を28か所から**60**か所に拡充

(定員**1,000**人)

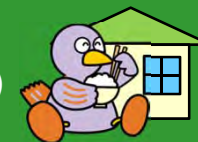
支援員が就職に結びつきやすい内容の職業訓練を企画・開設

支援内容

面接相談	5,167回
家庭訪問	2,972回
ハローワーク同行	1,115回
訓練受講	897人



住まいのない生活保護受給者への住宅支援（実績とH25の展開）



無料低額宿泊所入所期間の長期化

無料低額宿泊所の状況 施設数 **25**か所／入所者 **1,366**人
➡「一時的な宿泊所」であるが、入所期間**1**年以上が**72.8%**（H22年4月）

社会福祉士の資格を持つ支援員が、民間アパート等への転居から安定した生活の確保まで一貫して支援



不動産業者に同行



不動産業者との交渉

H24の実績

アパートへの転居者 **773**人

支援内容

面接相談	4,513回
〔不動産業者との交渉、債務相談 自治会挨拶、定期的な家庭訪問等〕	14,802回

H25の展開

転居が困難な高齢者や障害者などの長期入所者を重点的に支援

支援の具体例 { 障害者手帳取得や年金受給手続きの支援
借金を抱えた人に弁護士を紹介
病院受診の付き添い

